

聖書ルカ 18 : 1 ~ 17

2019/1/20

「いつでも祈るべきです」

1. はじめに

- ・「祈り」と「祈るべきである」信仰から人の本来あるべき姿を学ぶ。
- ・困った時の神頼み（日本的には）
- ・いのりはイエスとの交わりである。

2. 本文

* 1 ~ 8 節

- ・ 1 節：いつでも祈るべきで、失望してはいけないことを教えるために、イエスは弟子たちにたとえを話された。
- ・ 願いごと
- ・ ルカ 11 : 1 ~ 13（主の祈りと求めよという祈り）
- ・ いつでも祈るべき—勧めではなく命令に近い
悩みの日も喜びの日も

* 9 ~ 14 節

- ・ 9 節：自分は正しいと確信していて、ほかの人々を見下している人たちに、イエスはこのようなたとえを話された。
- ・ パリサイ人と取税人の祈り。（人を見下すいのり、傲慢ないのり）
- ・ 神の前での祈り
- ・ ルカ 6 : 28 「あなたがたを呪う者たちを祝福しなさい。あなたがたを侮辱する者たちのために祈りなさい。」
- ローマ 12 : 14

* 15 ~ 17 節

- ・ 15 節：さて、イエスに触れていただこうと、人々は幼子たちまで連れて来た。ところが、弟子たちはそれを見て叱った。
- ・ 幼子のように神の国を受け入れる者

* 祈りについて

- ・ 主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。ルカ 11 : 1
- ・ 同じように、御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるので
す。ローマ 8 : 26
- ・ いのり—神と人との交わりの手段

3. まとめ

- ・ 約束：詩篇 50 : 15、イザヤ 65 : 24、マタイ 21 : 22
人と人との交わり—イエス・キリストを通して